



# 東京海上アセットマネジメント

## 進むがん治療薬開発の企業間提携

～アーカス・バイオサイエンシズとギリアド・サイエンシズのパートナーシップ契約締結～

ヘルスケアセクターにおいて、がん治療分野は、成長分野の一つに位置付けられており、各社が重点項目に挙げています。また、近年では、がん治療薬の開発や販売に関する業務提携や、買収(M&A)が活発に行われているなど、企業間の動きも活発になっています。

今回は、2020年7月13日に発表された、アーカス・バイオサイエンシズ(以下、アーカス社)とギリアド・サイエンシズ(以下、ギリアド社)のパートナーシップ契約締結についてご紹介します。

### 次世代がん免疫療法の共同開発と実用化に関する提携

2020年5月27日にバイオ製薬企業のアーカス社は、同社が現在開発中および将来開発予定のがん治療薬の開発及び実用化を目的とした、製薬大手のギリアド社との10年間の提携に関する合意を発表していました。そして、7月13日に5月の提携に関するパートナーシップ契約を締結したことを発表しました。

今回の締結では、ギリアド社はアーカス社に対して開発費の前払い金として1億7,500万米ドル(約187億円\*)を支払うとともに、約2億米ドル(約214億円\*)のアーカス社株の取得を行います。(取得価格:1株あたり33.54米ドル)。

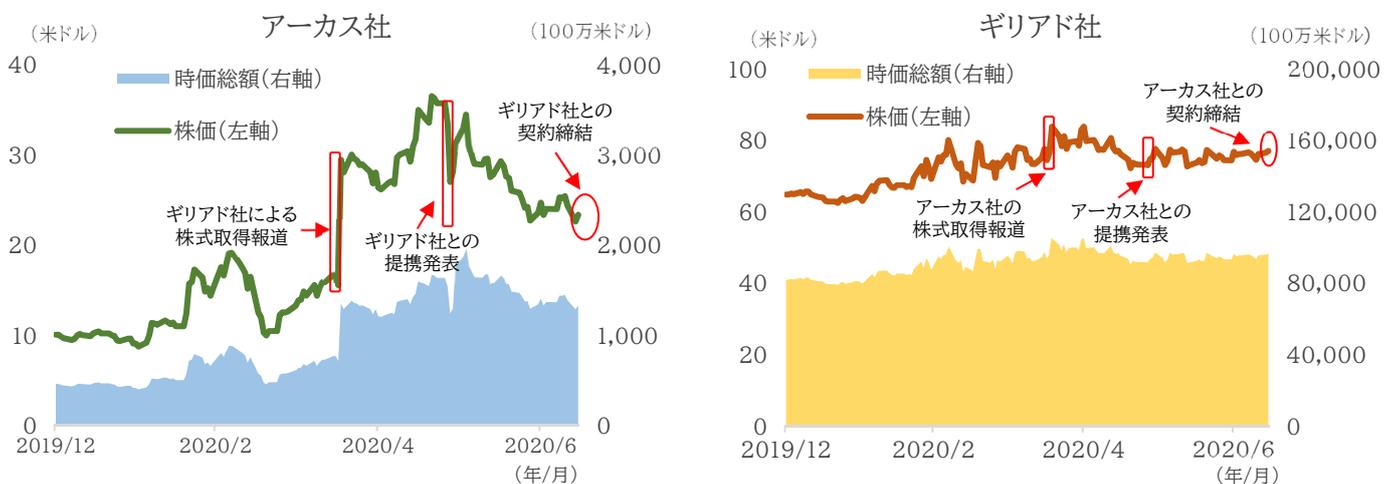
今回の提携により、アーカス社は会社としての独立性を維持しつつ、ギリアド社からの資金によりがん治療薬の開発をさらに進めることが可能となります。また、ギリアド社はアーカス社が得意とするがん免疫療法にアクセスすることが可能となります。(※1米ドル:107.07円で円換算)

### アーカス社の次世代がん免疫療法への取り組み

バイオ製薬企業のアーカス社は低分子製剤に加え、PD-1やTIGITを含む免疫チェックポイント受容体を標的とした抗体製剤の開発を進めています。現在臨床開発段階にある4つのがん免疫療法プログラムに加え、進行中の6つの前臨床パイプラインがあります。

抗TIGIT抗体薬に関しては、2020年5月末から6月初めにかけて開催された米国臨床腫瘍学会(ASCO)でも同業他社が有望なデータを発表しており、特に注目が集まっています。(関連記事: [「がんとたたかう通信 vol.1」米国臨床腫瘍学会\(ASCO\)で注目の医薬品①](#))

<年初来の株価と時価総額の推移>  
(2019年12月31日～2020年7月14日、日次)



※ 上記記載の銘柄への投資を推奨するものではありません。また、当社ファンドへの組入等を示唆・保証するものではありません。  
 ※ 上記は過去の情報および将来の見通しであり、将来の動向等を示唆・保証するものではありません。

出所: ブルームバーグ

## 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等値動きのある証券に投資をしますので、これら組み入れ資産の価格下落等や外国証券に投資する場合には為替の変動により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

投資信託は、**預貯金や保険と異なります**。また、**投資元本が保証されているものではなく**、基準価額の下落により損失を被り、**投資元本を割り込むことがあります**。個別の投資信託毎にリスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

## 投資信託に係る費用について

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 **上限3.3%(税込)**
  - 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 **上限0.5%**
  - 保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・運用管理費用(信託報酬) **上限 年率2.035%(税込)**  
※ファンド・オブ・ファンズでは、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用管理費用等を別途ご負担いただきます。
  - その他の費用・手数料・・・監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、信託事務等に要する諸費用等をファンドの信託財産を通じて間接的にご負担いただきます。
- 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計金額については、お客さまの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

### <ご注意>

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、東京海上アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しています。費用の詳細につきましては、個別の投資信託毎の投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

投資信託にかかるリスクや費用は、投資信託毎に異なりますので、ご投資をされる際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご確認ください。

東京海上アセットマネジメント株式会社

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

サービスデスク 0120-712-016

(土日祝日・年末年始を除く 9:00~17:00)

商号等：東京海上アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

- 当資料は、情報提供を目的として東京海上アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申込みにあたっては必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社までご請求ください。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に掲載された図表等の内容は、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- 投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。
- 投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。

東京海上アセットマネジメント  
YouTube公式チャンネル

ファンド・マーケット関連動画などを公開しています。

